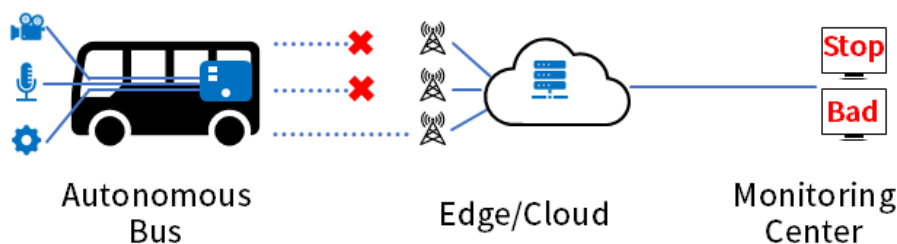


高信頼な通信を実現する協調型インフラ基盤

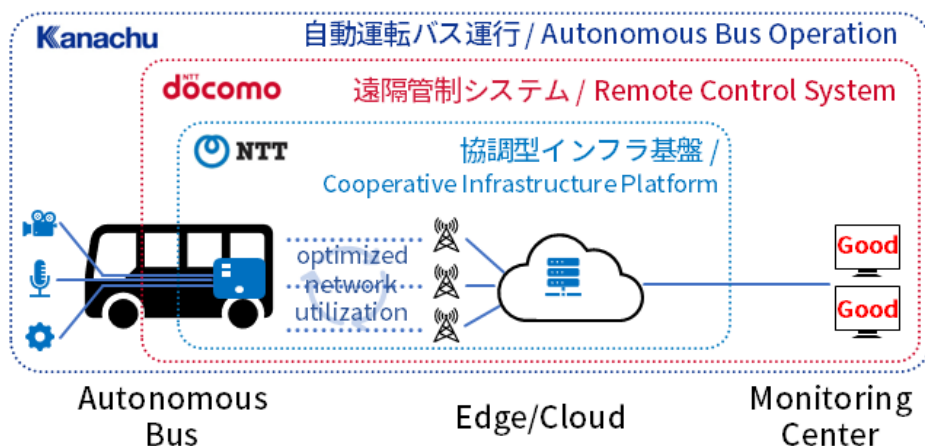
交通サービス事業者が映像の途切れない遠隔管制により安全な自動運転バスを運行できます

#業務効率化 #地方創生 #顧客体験価値向上

Before 急激な通信品質低下により映像の途切れが発生
Video interruption due to sudden decrease in communication quality



After 通信品質の予測と回線最適利用により映像の途切れを低減
Significantly reduce video interruptions by predicting and optimizing communication quality



////技術課題

安全な自動運転には、途切れない遠隔監視が必要ですが、移動に伴い通信品質が変動するため、安定した映像伝送が難しいという課題があります。

////研究目標

途切れない映像伝送で安全な自動運転管制を実現することにより、ドライバー不足の解消などに寄与します。

---要素技術

- 品質予測により通信品質の劣化が発生する前に、複数回線を最適に利用できるように制御
- 標準化中のMultipath QUIC技術をいち早く実装し、実フィールドで実証
- ドコモ社開発機能と相互接続

---市中技術差異点

市中技術は、通信品質が劣化してから送信量とビットレートを制御するが、提案技術は過去の伝送実績とリアルタイムの計測値に基づき、通信が劣化する前に制御。これにより、従来では対応できなかった映像途絶を回避。

---適用ビジネス

交通サービス分野において、協調型インフラ基盤を活用した途切れないネットワークにより、複数の自動運転車の車内外の映像をリアルタイムに監視。これにより、乗客の安全と効率的で高品質なサービスを実現（2025年頃）